

松平家史料展示室企画展 あなたの知らない中根雪江

- 主催 福井市立郷土歴史博物館
- 会場 松平家史料展示室
- 会期 平成30年3月24日(土)～5月20日(日)
- 休館日 5月7日(月)

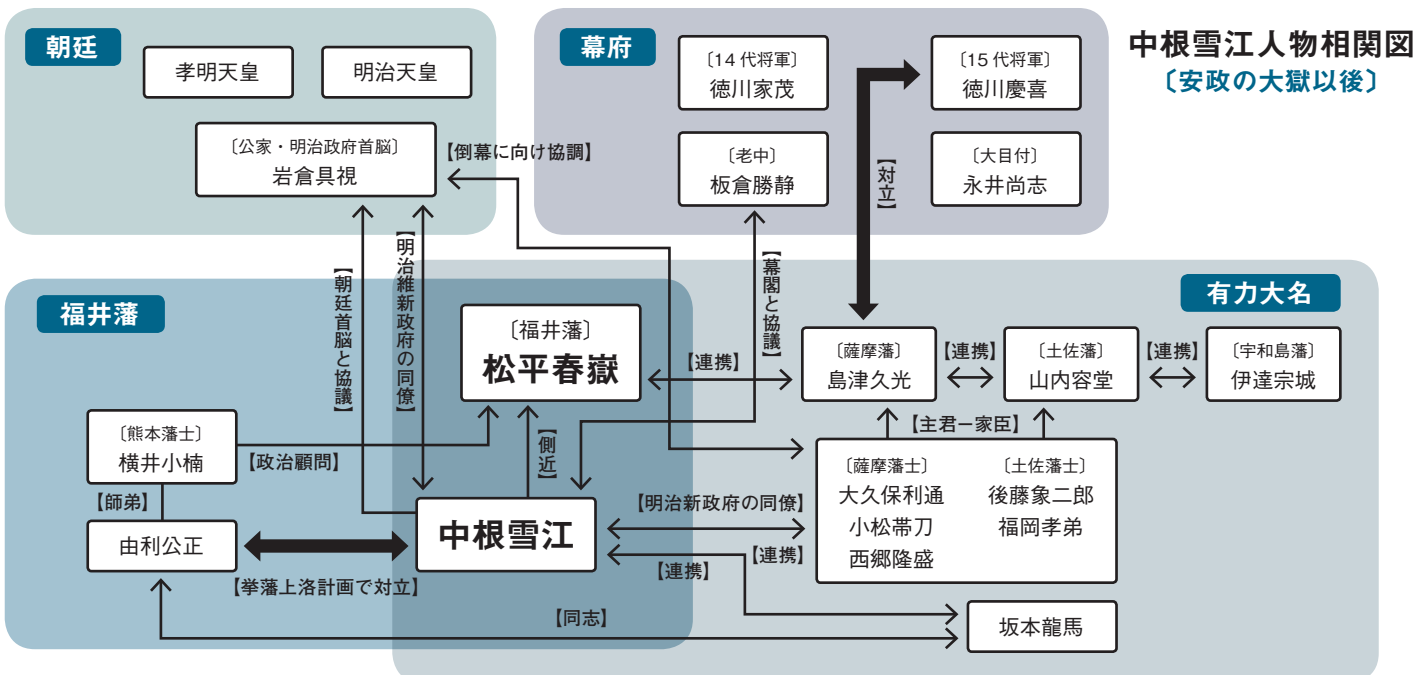
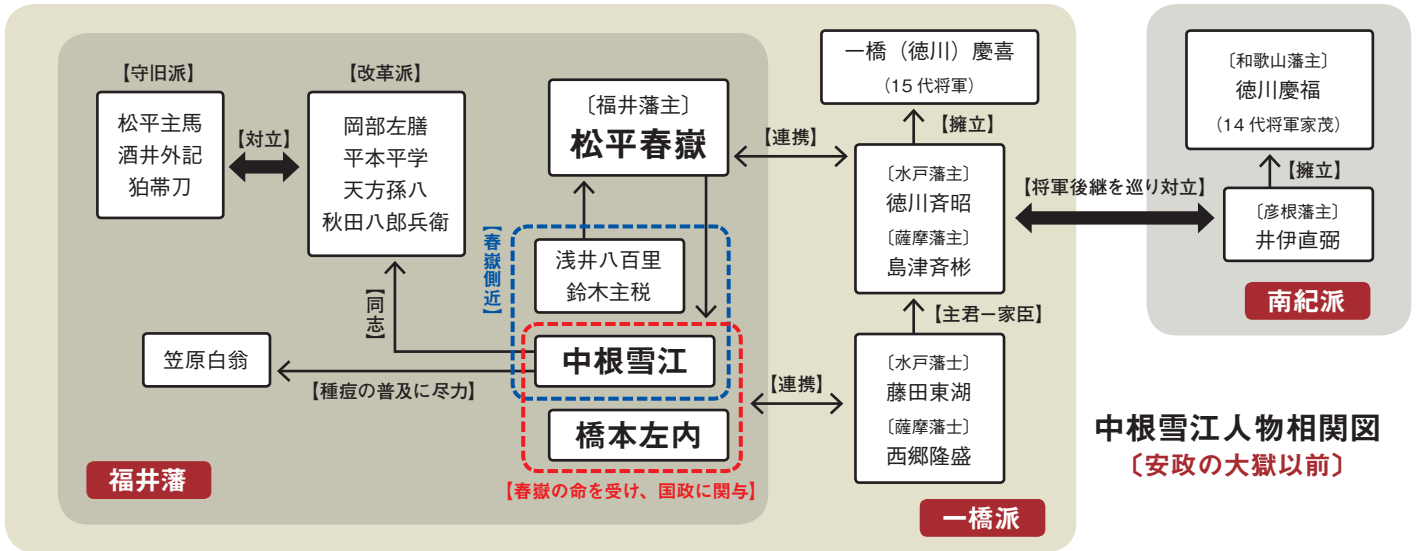
幕末の福井藩主松平春嶽に長らく近侍した福井藩士中根雪江。その大きな功績の割に、よくご存知ない方が多いのではないのでしょうか。雪江は11歳で藩主となった春嶽を見守り育て、藩政改革を先導し、財政立て直しや種痘の普及などに力を尽くしました。その後国政に関与した春嶽に従い、橋本左内らと共に一橋慶喜を将軍にする活動に従事します。これは実を結びませんでした。文久2年(1862)から再び国政に関与します。春嶽の命を受け、薩摩藩などと協調しながら幕府・朝廷と協議し、政治課題の解決に力を尽くしました。

慶応3年(1867)12月の王政復古後は新政府の参与に就任します。その後は坂井港宿浦(現坂井市三国町宿)に閑居し、史書『奉答紀事』などを編纂しました。

本展では、「知られざる男」中根雪江の事績を館蔵資料から紹介します。



中根雪江肖像写真
(福井市春嶽公記念文庫 当館蔵)



中根雪江 略年譜

年	西暦	月日	年齢 (数え)	できごと	関連展示資料
文化4	1807	7月1日	1	中根衆譜の嫡男として誕生	
天保元	1830	10月25日	24	父の死去に伴い、家督を相続する	
天保9	1838	10月2日	32	15代藩主斉善の死去に伴い、田安德川家から迎えた慶永(春嶽)が16代藩主を継ぐ	慶永公名臣献言録、真雪草紙
天保10	1839	5月	33	八か条にわたる弊政改革の要点を記した建言書を提出	中根勅負建白書
天保12	1841	3月11日	35	御勝手掛に就任、財政改革に着手する	
天保14	1843	6月11日	37	春嶽、福井に初入国	
弘化元	1844		38	この頃、雪江の進言により留川・坂鳥場を廃止するも翌年復興する	真雪草紙
嘉永2	1849	11月25日	43	蘭方医笠原白翁、雪江の支援により福井で初めて牛痘種痘を開始	白神往来留
嘉永7	1854	1月14日	48	ペリー、昨年に引き続き浦賀来航、3月3日に日米和親条約締結	
安政3	1856	10月	50	この頃より福井藩論が開国と改まる	橋本左内書簡中根雪江宛
安政5	1858	1月27日	52	橋本左内上京、將軍継嗣問題につき雪江と共に春嶽の命を受け活動	中根雪江書簡橋本左内宛
		7月5日		春嶽、不時登城により隠居謹慎を申し付けられる	
		7月6日		糸魚川藩主松平直康が17代福井藩主を継ぎ、名を茂昭と改める	
		10月22日		春嶽、左内・雪江等に形見の品を与える	
安政6	1859	10月7日	53	左内刑死	手形並びに和歌の幅 「送別」の和歌短冊
		10月10日		帰福に先立ち謹慎中の春嶽を訪ね、手形と和歌を拝領	
		11月7日		『昨夢紀事』の執筆に取りかかる(翌万延元年6月21日稿了)	
万延元	1860	3月3日	54	大老井伊直弼暗殺される(桜田門外の変)	
文久元	1861	1月22日	55	御側御用人に就任、2月16日には江戸詰を命ぜられる	
文久2	1862	4月25日	56	春嶽、赦免の沙汰を受ける。5月7日には幕政参与を命ぜられ、政界復帰する。これに伴い、雪江も諸藩士や幕閣との折衝を開始	
		7月9日		春嶽、政事総裁職に就任	
文久3	1863	1月10日	57	入京。春嶽は2月4日入京	
		3月4日		將軍徳川家茂が入京	
		3月21日		春嶽、政事総裁職辞任の勅許を待たずに帰国の途につく	
		5月		京都に滞在。また同月、福井藩では横井小楠を中心として挙藩上洛計画がおこる	
		6月1~7日		挙藩上洛賛成・反対両派による激論。翌8日から雪江は自邸に引きこもる	
		6月14日		藩論分裂の責を負わされ、蟄居及び隠居の処分を受ける	
		10月18日		春嶽入京	
11月7日	蟄居を解かれ上京する				
元治元	1864	4月19日	58	参預会議に伴い諸藩士・幕閣・皇族らと折衝を重ねる	佐久間象山書簡中根雪江宛
		4月26日		春嶽、帰国の途につく。23日福井着	
		5月2日		佐久間象山を訪ね、時事を談ず(翌日は村田氏寿を伴い再訪)	
		8月15日		帰国の途につく。5日福井着	
慶応元	1865	12月15日	59	幕閣の薩摩に対する疑念を解くため上京。翌年2月7日帰福	
慶応3	1867	4月16日	61	春嶽入京、雪江も随行。四侯会議に伴い折衝を重ねる	坂本龍馬書簡 中根雪江宛(複製) 島田墨仙筆「王政復古」(複製) 中根雪江宛徴士辞令
		8月9日		春嶽帰福、雪江も随行	
		11月5日		大政奉還を受け、2日に春嶽が上京の途につく。雪江はこの日出立	
		11月10日		坂本龍馬から、三岡八郎(由利公正)を上京させるよう依頼する書簡が届く	
		12月9日		王政復古の号令に伴い、議定に就任した春嶽と共に小御所会議に出席	
		12月12日		参与に就任	
慶応4 (明治元)	1868	1月3日	62	鳥羽・伏見の戦い勃発	天賜牧童蒔絵印籠 中根雪江宛賞典録四百石下賜の書付 中根雪江賞典録頒授の書付 中根雪江釣姿肖像写真
		5月3日		徴士参与職を免ぜられる	
		8月6日		京都を出立	
明治4	1871	5月	65	坂井港宿浦へ閑居し、その邸を「煙波楼」と名づける	
		12月		『丁卯日記』『戊辰日記』を稿了	
明治6	1873	7月11日	67	春嶽、雪江宅を訪問。『奉答紀事』の執筆開始	越行日記 『昨夢紀事』『奉答紀事』献上の添書
明治9	1876	10月	70	『奉答紀事』脱稿	
明治10	1877	4月	71	天皇行幸中の京都を訪ね、天顔を拝する。春嶽と共に東京へ向かう。	滯西日録
		9月25日		病を發し、脚気症と診断される。	
		10月3日		東京にて死去	

【関連イベント】

ギャラリートーク

(展示解説)

平成30年3月31日(土)、4月15日(日)、
5月5日(土)、5月20日(日)
各回とも14:00~14:40

今回の企画展

「越前の画人たち」

平成30年5月23日(水)~7月17日(火)

松平家史料展示室 展示解説シート No.113

平成30年3月24日発行

福井市立郷土歴史博物館

〒910-0004 福井市宝永3丁目12-1

電話 (0776) 21-0489 FAX (0776) 21-1489

担当 田中伸卓

印刷 宮本印刷